

なり、当時の写真をご提供いただきました。その中の写真に大樽が写っていました。カプトビール製造終了後60数年経過していますが当時のビール製造を感じさせるものは何も残っていません。当倶楽部としては何かビール製造を感じさせるものが欲しいと願っていましたがその矢先貴重な写真に出会いました。再現しようという声が上がりましたが、木材では不可能、可能性はダンボール製でという提案が出ましたが倶楽部には予算がないため、今後の課題にということで先送りとなりました。しかし、4月に入り倶楽部員の紹介で名星ダンボール(株)伊藤社長とつながりが出来、伊藤社長から無償でダンボール提供の話が成立。さらに倶楽部員の中で特殊技能を持つ方がいて、3次元で実物大の設計図及びパーツ図面を作成。倶楽部員は5月連休も返上、さらに日曜日も作業。そしてついに公開日の一週間前の27日に完成。完成品を本来の貯蔵庫に陳列した瞬間、ビール工場が蘇った感覚となり改めて関係者全員感動を覚えました。

NHK、中日新聞等のマスコミに取り上げられ特別公開のもうひとつの目玉となりました。伊藤社長及び関係者の皆様、あらためて御礼を申し上げます。(N. B)

◆カプトビール、関連グッズの販売ともに大好評！！

今回もカプトビールの限定販売を行いました。2日間で限定3千本。今年の特徴は、かなりのお客様が遠方から来られたこと、またバラよりも3本入りカートンをお買い上げいただく方が多いことでした。これもマスコミを中心に半田赤レンガ建物が全国的に広く告知されていることの証かなと感じています。関連グッズ販売コーナー、建物ナビゲート等に沢山のボランティアの方々にお手伝いいただきました。慣れない活動とは思いますが、ボランティアの皆さんの元気な声と一生懸命の姿にお客様も快く、ほほえましく感じていただけたと思います。ぜひ今後もよろしくお願いします。



また、倶楽部員の家族の方によるバイオリンミニコンサートは幻想的な雰囲気を作り出し、またミニレンガで遊ぼうコーナーでは子供さんたちが楽しく遊ばれていました。実演コーナーとして瓶の菰造りは珍しさもあり大好評。故杉本画伯コーナーには画伯の娘様もご来場され盛り上げていただきました。また半田市観光協会コーナーでは秋の山車祭りPRを中心に来場者の関心を呼んでいました。

2日・3日の特別公開は天候にも恵まれ大盛況に終わることが出来ました。市内の中学生・高校生そして愛知淑徳大学の学生さん、市の職員の皆さんそして観光ボランティアの皆さん、倶楽部員の皆さんのご協力により充実した公開とすることが出来ました。皆さんありがとうございました。(N. B)

■ NEWS 02

「いい日旅立ち！！」

～倶楽部創立10周年を目前にして～ (赤レンガ建物108歳誕生日を迎えて)



11月5日(日)午後2時より建物内で標記のキャッチフレーズで第1部勉強会として①赤レンガファクトリー計画②未公開写真の発表、第2部誕生会として建物108歳の誕生会が行われた。まず第1部ですが、馬場事務局長より建物及び倶楽部活動の歴史・経緯について説明があった。続いて、メインマの赤レンガファクトリー計画の



説明に入った。発表はスケジュールを曲げて出席いただいた日本福祉大学経済学部長丸山先生から全体概要の説明があった。そして建物については永田事務局次長から、跡地活用では川口氏より説明があった。会員の中には始めて見たり聞いたりする方が多く、終了後今後の活動に向けて大変参考になった、ぜひ次回もお願いしたいとの要望が出ました。そして、第1部は終了し第2部誕生会へ。場所はライオンズ寄贈の赤レンガ広場。司会はプロも顔負けの榊原肇氏。市長の挨拶、続いて市長と会長によるケーキのローソク消し。そして同時に参加者全員が「ハッピーバースディツウウウ、・・・・ハッピーバースディディア赤レンガ、ハッピーバースディツウウウ」の大合唱。続いて、カプトビールで乾杯！この日の参加者は会員以外に、一言でくると半田を愛するまちづくり活動家たちに

沢山お越しいただき時間を忘れてまちづくり・赤レンガ建物の活用計画について熱く語り合っていました。またぜひ早い機会に同様の場を設定したいと考えています。お手伝いの皆さん、お疲れ様でした。(N. B)

■ NEWS 03

2007年度 恒例の新春合宿行われる！！



1月21日(日)午後1時30分より半田市成岩公民館で恒例の新春合宿が行われました。参加者は20数名。長谷川会長より「今年倶楽部は創立10周年を迎えます。建物の知名度も年々高まり関係各機関も大変注目をされていて、念願であった本格的な整備・修復が近い将来実現するかもしれないと思っています。さらに活動を強化するために活発な議論をしていただきたい」との挨拶があった。続いて、馬場事務局長より「①半田市へ50万円寄付②ライオンズ45周年で赤レンガ広場が寄贈③舞鶴ツアー④“いい日旅立ち”創部10周年+108歳誕生日の中で第一回勉強会として赤レンガファクトリー構想を勉強したこと等」の報告があった。さらに「本日の新春合宿のポイントは本格活用が見えてきた中、早急に“活用案の検討”と“組織の強化”を図る必要があり、大いに議論していただきたい」との説明があった。続いて、年間計画の検討に入った。見学会・勉強会の具体化、当面迫っている蔵のまち雛祭り、本年の特別公開のメインテーマ等について意見を出し合い、事務局案をベースに年間活動計画を決定した。続いて、「組織の強化」をテーマとし事務局長より「建物の本格活用時には当クラブは管理受託を前提にNPO法人化をしたい。そこで、いつでもNPO法人化できるように組織・運営方式について再構築を行い、来年度から実施したい。現在理事会方式を考えているが今後煮詰めていきたい。」との説明があった。ここまでの報告・検討で激論に次ぐ激論となり、気づいてみるとすでに午後6時頃、あつという間に時間が経過していました。引き続き模様替えを行い新年懇親会に切り替え午後9時頃まで赤レンガをつまみに楽しい時間を過ごしました。中締めの際には今年はさらに飛躍の年にしよう！！との力強い音頭があり全員大きな声で成功を誓い合いました。(N. B)

■ NEWS 04

第4回蔵のまち雛祭り



過去の蔵のまち雛祭りは2月下旬から3月上旬に土日の2日間だけ開催してきましたが、本年は半田市観光協会を中心にまちづくり事業として「温故知多新」事業が2月上旬から3月3日(土)、4日(日)までの長期間にわたり展開されることになり、当倶楽部もまちづくりの一環として協賛することにし、2月11日(日)を皮切りに毎週日曜日ごとに建物の一般公開を開催し、そしてメインイベントとして3月3日(土)、4日(日)を迎えることにしました。毎週公開することが周知されていなかったこともあり毎週の入場者数は350人から500人くらいでした。しかし、ホームページで見られたのか、結構遠方からこられる方がありカブトビールの歴史や建物の貴重性にあらためて感動される方が多く、お迎えしたスタッフもやってよかったですと思いました。建物内には、前年同様「スタンドグラス雛、ガラス雛、土雛展示」、「歴史・お宝」、「関連グッズ販売」の各コーナを配置しました。そして、今年はボランティアの方が作られたカナダ・イギリスを連想させるハンギングバスケットの花があちこちに天井梁から吊るされ素晴らしい赤レンガ空間を醸し出していました。また3月3日(土)、4日(日)には中学生ボランティアの方に昨年引き続きお手伝いいただきました。参加いただいた中学生の皆さん、お疲れ様でした。当倶楽部は今後もまちづくり関係団体と協働してまちづくりを進めていきます。ぜひ次回もよろしくお願いいたします。(N. B)

